別記第１号の２様式（介護職員初任者研修課程関係）

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程　通信）

事業者名：株式会社more connect

※実施方法については、「実施要綱」別紙３「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙１）		実施計画					
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容	
1 職務の理解	6 時間	1 職務の理解			6 時間	1 職務の理解	
			通学	通信	合計		
(1) 多様なサービスの理解		(1) 同左	3	0	3	(1)	講義のみ
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左	3	0	3	(2)	講義及び演習 多様な現場におけるそれぞれの仕事内容、事例に基づく討議によるサービス提供現場の具体的イメージをし、各自発表をする。
2 介護における尊厳の保持･自立支援	9 時間	2 介護における尊厳の保持･自立支援			9 時間	2 介護における尊厳の保持･自立支援	
			通学	通信	合計		
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 同左	0	4	4	(1)	通信講習のみ
(2) 自立に向けた介護		(2) 同左	1.5	3.5	5	(2)	講義及び通信講習 自立支援、残存能力の活用、重度化防止、意欲を高める支援、介護予防の考え方等を事例に基づくグループ討議を交えて理解する。
3 介護の基本	6 時間	3 介護の基本			6 時間	3 介護の基本	
			通学	通信	合計		
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左	0	1	1	(1)	通信講習のみ
(2) 介護職の職業倫理		(2) 同左	3	0	3	(2)	講義及び演習:専門職としての倫理の意義について講義を行い、演習では介護職としての社会的責任についてグループワークを行う。

(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	(3) 同左	0	1	1	(3)	通信講習のみ
(4) 介護職の安全	(4) 同左	0	1	1	(4)	通信講習のみ
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9 時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9 時間				4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
		通学	通信	合計		
(1) 介護保険制度	(1) 同左	1.5	3	4.5	(1)	講義、演習及び通信講習:介護保険制度について講義を行い、演習では福祉用具貸与が生活に与える影響についてグループワークを行う。
(2) 障害福祉制度及びその他制度	(2) 同左	0	2.5	2.5	(2)	通信講習のみ
(3) 医療との連携とリハビリテーション	(3) 同左	0	2	2	(3)	通信講習のみ
5 介護におけるコミュニケーション技術 6 時間	5 介護におけるコミュニケーション技術 6 時間				5 介護におけるコミュニケーション技術	
		通学	通信	合計		
(1) 介護におけるコミュニケーション	(1) 同左	2	1	3	(1)	講義、演習及び通信講習 さまざまな技法を学び、利用者や家族とのコミュニケーションの実際等をロールプレイを通して理解する。
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	(2) 同左	1	2	3	(2)	講義、演習及び通信講習 記録における情報の共有化、報告について、コミュニケーションをうながす環境整備等をロールプレイを通して理解する。
6 老化の理解 6 時間	6 老化の理解 6 時間				6 老化の理解	
		通学	通信	合計		
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	(1) 同左	0	2	2	(1)	通信講習のみ
(2) 高齢者と健康	(2) 同左	3	1	4	(2)	講義、演習及び通信講習:高齢者と健康について講義を行い、演習では筋骨格系の疾患予防についての身近な取り組みについてグループワークを行う。

7 認知症の理解	6 時間
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	
8 障害の理解	3 時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間
ア 基本知識の学習	10～13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	

7 認知症の理解	6 時間		
	通学	通信	合計
(1) 同左	0	1	1
(2) 同左	1	1	2
(3) 同左	1	1	2
(4) 同左	1	0	1
8 障害の理解	3 時間		
	通学	通信	合計
(1) 同左	0.5	0	0.5
(2) 同左	1.5	0.5	2
(3) 同左	0	0.5	0.5
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間		
ア 基本知識の学習	10 時間		
	通学	通信	合計
(1) 同左	1	1	2
(2) 同左	2	1	3

7 認知症の理解	
(1) 通信講習のみ	
(2) 講義及び通信講習 認知症の定義、もの忘れとの違い、せん妄の症状、認知症に使用される薬について理解する	
(3) 講義、演習及び通信講習 認知症利用者への対応を事例に基づくグループ討議を交えて理解する。	
(4) 講義及び演習 認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減をロールプレイを通して理解する。	
8 障害の理解	
(1) 講義のみ	
(2) 講義、演習及び通信講習:障害の医学的側面などについて講義を行い、演習では視覚障害者への介護の留意点についてグループワークを行う。	
(3) 通信講習のみ	
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 講義及び通信講習	
(2) 講義、演習及び通信講習 学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい等を小グループでの討論を交えて理解する。	

(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	(3) 同左	3	2	5	(3) 講義及び通信講習 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、ボディメカニクスの活用、中枢神経系と体性神経に関する知識等を理解する。
イ　生活支援技術の講義・演習　50～55時間	イ　生活支援技術の講義・演習　55　時間				イ　生活支援技術の講義・演習
		通学	通信	合計	
(4) 生活と家事	(4) 同左	3	2	5	(4) 講義、演習及び通信講習 生活歴、自立支援、多様な生活習慣、価値観等を学び、ロールプレイを通して理解を深める。
(5) 快適な居住環境整備と介護	(5) 同左	3	2	5	(5) 講義、演習及び通信講習 高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法を事例に基づくグループ討議を交えて理解する。
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	(6) 同左	6.5	0.5	7	(6) 講義、実技演習及び通信講習 2人一組で交代で片麻痺の利用者の衣類着脱を実技演習する。
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	(7) 同左	6.5	0.5	7	(7) 講義、実技演習及び通信講習 2人一組で交代で全面介助でのベッド～車いす～トイレの移動・移乗を実技演習する。
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	(8) 同左	6.5	0.5	7	(8) 講義、実技演習及び通信講習 2人一組で交代でゼリーを食べさせる介助及び口腔ケアの実技演習をする。
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	(9) 同左	6.5	0.5	7	(9) 講義、実技演習及び通信講習 2人一組で簡易浴槽を使って介助のロールプレイング及び足浴の実技演習をする。
(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	(10) 同左	6.5	0.5	7	(10) 講義、実技演習及び通信講習 2人一組でトイレ介助のロールプレイング及びおむつ着脱の実技演習をする。
(11) 睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 同左	6.5	0.5	7	(11) 講義、実技演習及び通信講習 シーツ交換等のベッドメイキングや2人一組で褥瘡予防体位変換の実技演習をする。
(12) 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	(12) 同左	2	1	3	(12) 講義及び通信講習
(実習)※　(50～55時間中12時間以内)	(実習)※　0　時間				(実習)※

介護実習	○時間							
ホームヘルプサービス同行訪問	○時間							
在宅サービス提供現場見学	○時間							
ウ　生活支援技術演習	10～12時間	ウ　生活支援技術演習	10	時間		ウ　生活支援技術演習		
			通学	通信	合計			
(13) 介護過程の基礎的理解		(13) 同左	4	0	4	(13)	講義及び実技演習 事例に基づき個別援助計画の作成演習を行う。	
(14) 総合生活支援技術演習		(14) 同左	6	0	6	(14)	講義及び実技演習 3つの事例に基づき一連の介助技術を行い、技術の習得の度合いの評価を行なう。	
10　振り返り	4 時間	10　振り返り	4	時間		10　振り返り		
			通学	通信	合計			
(1) 振り返り		(1) 同左	3	0	3	(1)	講義及び演習 研修を通じて学んだこと、今後も継続して学ぶべきことを考え、一人ずつ発表する。	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		(2) 同左	1	0	1	(2)	講義のみ	
追加カリキュラム	時間							
計	（ 130 時間 ）	計	（ 130 時間 ）					

※「９こころとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、１２時間以内とする。